

「小手先のコスト削減テクニック」とか、もうどうでもいい情報はこれくらいにして、
そろそろ、一生役立つ調達・購買担当者の武器を手に入れませんか？

“120分たった数通りのやり方を覚えるだけで
毛嫌いしていた統計を使いこなせるようになり、
数的根拠を使って、知的に他者を説得する……
「数字」「統計」コンプレックスをすぐさま捨てて
一流調達担当者の道を歩んでみませんか”



坂口孝則

注目！！

このところ、あまり役立たないスキルや知識を教えて儲けようとするひとたちがたくさんいます。このひとたちは、正直にいつてしまえば、中身がないので、そうするしかないのです。たとえば、調達・購買の領域ですと、当たり前のことを当たり前のように話して受講料を取ろうとするのです。ときに当たり前の知識も必要でしょう。しかし、調達・購買担当者に必要なのは、新鮮な知識であり、明日の業務を改善できる知識です

私は調達・購買担当者がもっとも弱い、「数的」「統計的」な知識こそ必要だと考えていますなぜならば、いまこそ「数字で語らねばならない時代」だからです。これまで阿吽（あうん）の呼吸でやれたところも、そうではなくなってきました。数的に、そして統計的に正しいかが重要なのです

私は今回、調達・購買担当者の統計レベルを一気に引き上げる秘密を公開すると決めました。私が実際にもがきながら葛藤してきた果ての結果報告です。そして、これは私が今の立場を築いた理由でもあります

とにかくこれまでの曖昧な業務から脱却したいあなたへ……。

今回は、怒られても良いと思っています。

今回は本音を書きます。おそらく一部のひとは、私に怒るでしょうが、関係ありません。普段の私を知っているひとは、私のことを「冷静で静か」と評してくれていますが、今回は熱っぽく書いていこうと思います。

今回、あなたにお話する内容は一つです。「調達・購買というレベルの低い世界をいったんリセットすること」です。ほら、誰かは怒ったでしょう？ でも、正直、あまりにレベルの低いひとが、この世界にいると

思いませんか？

たとえば、「勘と経験と度胸」しかないのに、後輩に偉そうに指導する先輩。数的な根拠を何も持っていないのに、これまでの前例だけで話そうとする上司。挙句の果てには、管理会計と財務会計と税務会計の違いをわからないひとが調達・購買を講義していたり、または統計がわからないのに「市況データ」の読み方を講義していたり。

ひどいですよね。

こういったひとたちが、会社によってはヒーロー扱いされていたり、セミナー会社によっては丁重に扱われていたり……。でも、あまりに恥ずかしくないでしょうか？

もう、はっきりさせてしましましょう。

巷では、「これからは調達・購買部門が大切だ！」とか「コスト管理が重要だ！」とか叫んでいるひとたちがたくさんいます。しかし、多くの会社では、精神主義・根性主義、OJT中心、経験重視・前例重視ばかりで、調達・購買業務を体系化しようとしていません。ほんとうに調達・購買機能が大切ならば、なぜ変化させようとしらないのでしょうか。

答えは簡単です。

そう叫ぶひとたちが、経験以外のものを持っていないからです。理論や新しいツールではなく、これまでのやり方を踏襲するしかないからです。

理系の世界でも、最近はそのかもしれないかもしれませんが、この調達・購買の世界というのは、優れたひととそうではないひとが玉石混交なのです。一見、静かでもほんとうは優れたひとはいます。逆に、一見、優秀そうに見えても、単に声が大きいだけの無能なひとたくさんいます。

私は、なんとかその恵まれない状況から脱しようともがいてきました。「イヤだ、逃げたい、辞めたい、終わりたい……」。毎日、そう思っていました。

入社して1年経ったときに先輩から「これまで何回くらい『会社を辞めたい』と思ったか？」と聞かれましたので、「500回」と答えました。「まだ250日ほどしか働いていないだろう」と言われましたが、一日に2回「辞めたい」と思っていましたのでウソではありませんでした。

でも、考えるほど、これ以上面白い仕事はないと思うにいたりしました。なんだかんだいって、私がいま生きているのも、この調達・購買のおかげです。だから、この世界にいて、自分を変えようと思っているひとたちには、絶対に成功してほしいと考えています。

ちなみに、私はずっと業務を体系化し、理論化し、それをツール化することに全身全霊を捧げてきました。その証拠として、25冊もの書籍を執筆してきました。通常のビジネス書著者が20年以上をかけて書く内容を、わずか5年で公開してきました。別にこれは自慢したいわけではありません。

現在、効率的に学び、正しくアウトプットすれば、 誰でも短期間で大きな成果を導けます。

私はできるかぎり、真摯にお話したいと思います。ですので、あまり突飛な言葉は使いたくありません。

ただし、それでも誤解を恐れずにいえば、「惜しい」ひが多すぎるように思います。「もう一つのスキルさえ持てば最高なのに」「もう一つのスキルさえ持てば絶対に活躍できるのに」と感じる人が多いのです。

私のコンテンツのほとんどは「他の調達・購買担当者も同じデータを見ていた」しかし「私しか気づかなかった真実」なのです。普通の調達・購買担当者は、データの羅列としか感じていない。でも、私はそこに法則性を見つけたり、あるいは規則性を見つけたりしてきました。

外見は誰にとっても同じなのです。ただ、その深層に気づけなければいけません。では、「もう一つのスキルさえ持てば最高なのに」「もう一つのスキルさえ持てば絶対に活躍できるのに」というときの「もう一つのスキル」とはなんでしょうか。

私はそれこそ数的・統計的思考だと思います。

調達・購買担当者に重要なのは、この思考ではないでしょうか。しかも、これを身につければ、他者にたいする説得力が違います。普通の調達・購買担当者が「なんとなく」で説得するところも、あなたは明確な「統計的根拠」を使って説得できるわけです。

たとえば、ある施策を実行したら、サプライヤの コスト競争力が向上したとします。

**あなたは、この事実が「たまたま」なのか、
たしかに「その施策が効果をもたらしている」ものか、
区別できますか。**

これには統計の考え方が必要です。

ちなみに、あなたはこの分析手法をご存知でしょうか？

これをはっきりさせるためには、t検定を実施します。t検定では、「対立仮説」と「帰無仮説」を立て、その「帰無仮説」を棄却できるかp値を計算します。

……。何を言っているのかわからない。そう思われましたか？ 「t検定」「対立仮説」「帰無仮説」「棄却」「p値」、それぞれの意味がわからなければ、これは外国語と同じです。

でも、安心してください。

外国語であれば、数年の学習期間は必要です。 しかし、ビジネス実務で使う統計の考え方を 学ぶのは短時間で可能です。

そして、このちょっとした知識を持っていることが、大きな差をもたらすのです。「大きな違いをもたらす、小さな違い」です。

「あんなに難しい統計知識をそんなにすぐに習得できるはずはない」と、あなたが思うでしょう。なぜなら、MBAでも統計はみっちり講義を受けますし、大学の授業（基礎教養）でも多くのコマ数を受講します。しかし、その結果、何もわからないのです。学生時代を思い出してください。「統計ってというのは『標準偏差』くらいは記憶あるけれど……。しかし、その意味も忘れてしまった」のが平均的な感想ではないでしょうか？

しかし、みなさんは学問的な正当性を知る必要はありません。学術的な厳密性を学ぶ必要はありません。そんな時間はありません。みなさんは、ビジネスパーソンですから、「使える」統計の術さえ身につければいいのです。みなさんは学者ではないのです。あくまで実務家なのです。

実際に、数的思考・統計的思考を身につけようと 思えば、三つでじゅうぶんです。

そうです。たったの三つです。

1. データを分析し

2. データを解釈し
3. 適切な施策を検討する

これらのことを直感でやるからダメなのです。この三つを、ちゃんと数的・統計的な意味を知ったうえで実施するのです。

「小手先のコスト削減テクニック」だとか、そんな知識はもういいですよ。それよりも、**調達・購買担当者が欲しているのは、明日から業務で使える考えかたであり、具体的なツールです。**概念論ではありません。

慣例でばかり働いているひとは、 仕事を進めるときに、具体的根拠を説明できません

私は**自分自身のノウハウを、あくまで現場・実践の観点を外さずに、わかりやすくお伝えしよう**と思います。

今回、「調達・購買担当者が身につけるべき数的・統計手法を半日で徹底的に学ぶ方法」の提供を行います。

当たり前ですが、この時点でまったく数学だとか 統計だとかがわからなくても大丈夫です

いや、むしろまったくわからないひとに知ってほしいのです。統計アレルギーのあるひとに聞いてほしいのです。

もっといえば、知識ゼロのひと向けです。私が実務開始時にはゼロでした。だから、こんな私だからこそ、ゼロから統計の知識をお伝えできると思います。

なぜなら、私はあなたがつまずくところがわかります。
私もそこでつまずいたからです。

私はこの知識をDVDという形でお伝えすることにしました。**統計が難しいと感じているすべての調達・購買部員のための明日から実務に活かせる「実学・統計セミナー」**

資料はすべて、私（坂口）が作成し、エッセンスを濃縮したものです。また、私（坂口）が講師を務めています。座学だけではなく演習を取り入れており、知識を定着できる工夫をほどこしています。

もう一度タイトルをご説明します。

統計が難しいと感じているすべての調達・購買部員のための

明日から実務に活かせる「実学・統計セミナー」

すごいタイトルですが、それくらいストレート・直球でお伝えしようと思います。私の知識を一つひとつ丁寧に解説していきます。

このDVDでは、何をお伝えするのか

対象者：

- ・ 調達・購買部門の方
- ・ 統計とか数字とかにめっぽう弱い方
- ・ 統計や数字でしっかりと物事を語りたい方
- ・ 統計や数字の初学者

これからアジェンダをお伝えしていきますね。下の内容がDVDに収録されています。

DVD概要：

統計を使いこなせる調達・購買担当者は多くありません。学問的な正しさよりも、ビジネスパーソン（調達・購買担当者）に必要なのは実践的な考え方と、明日から使える「やさしい」統計手法です。

調達・購買担当者が統計を使いこなせない理由は、使える統計手法を知らない、あるいは一度も手を動かしてやったことがない、などの理由が考えられます。このDVDでは、数学が苦手な文系社員を対象に、具体的に手を動かし、ビジネスの現場でありがちな数字を使いながら、「使える」統計思考を身につけていただきます。

現場で頻出する数字を使いながら、実際の業務に応用可能な練習問題を解くことで、明日からの仕事に役立ちます。

アジェンダ：

- 第0講. 統計学の基礎を学ぶと何ができるか
- (1)限られた情報でビジネス上の決断ができる
 - (2)統計を使うと未知を予想できる

第1講. 棒グラフでデータのイメージをつかもう

- (1)ヒストグラムとは何か
- (2)平均値、中央値、最頻値の使い分け
- (3)分散と標準偏差は簡単
- (4)世の中の多くは正規分布する
- (5)統計はビジネスの現場で使える

→ここでは統計を使いこなす助走編です。まず、平均値、中央値、最頻値などの概念を覚えていただきます。そして、標準偏差の考えをお伝えします。これは実際の業務においてQCDを管理する際に役立つはずですが、世の中とは、ある一定の法則にしたがってバラつくことが多いのですが、それを「分散」といったり、「標準偏差」といったりします。これが調達・購買業務に限らず、数字を扱うすべてのひとたちの基礎となります。

第2講. 「それって根拠あるのか？」に耐えうる相関分析入門

- (1)二項を使って散布図を書いてみよう
- (2)何かと何かはどれくらい関係性が強いのか
- (3)相関分析で気をつけるべきこと
- (4)単回帰分析をやってみる

→そして次に相関分析です。これは意外に調達・購買担当者と親和性があります。というのも、サプライヤからの価格を分析する際に、その製品の仕様を抽出して価格と連関性を見るものがあります（「コストドライバー分析」と呼びます）。これによって、製品特性におうじた価格を類推できるようになるのです。さらに複数の要因がからんでいるケースであっても重回帰分析を学ぶことで可能になります。ここも調達・購買業務に携わるひとが知っておきたい知識です。

第3講. 「お前が知っていることはほんとうか？」に耐えうる仮説検定入門

- (1)世界一カンタンな「F検定」入門
- (2)世界一カンタンな「t検定」入門

→そして統計でもっとも苦手意識を抱いてしまうのは、この仮説検定です。これは、調達・購買業務でなんらかの施策を行うとしますよね。そのときに、ほんとうにその施策の効果があつたのかをチェックする際に使えます。どういうことかというと、施策がほんとうに成果をあげたのか、それとも成果はくたまたまで偶然のものではないかを確率的にチェックできるのです。いままでの仮説検定にまつわる教科書や講義は難解すぎるように、私には感じられます。ここではポイントをしぼって、実務家のために「使える」仮説検定手法をお話します。

このアジェンダは一部を示したものです。たくさんの情報をお渡ししますので、ぜひ、みなさんも真剣にお聞きいただければ幸いです。また、このDVDで使う Excel ファイルはすべてお渡ししますので、ご安心ください。いつでも復習いただけます。

今回は、数的思考・統計的思考の基礎をしっかりとお伝えします。では、DVDの価格です。

もともとは、12万円にしようとしていました

この12万円の根拠ですが、私のセミナーは4万円で実施することが多く、復習として3回ぶんの受講料と考えたからです。しかも、私が10年以上にわたって試行錯誤してお伝えできるようになった統計のノウハウです。業務に役立つ具体的なテクニックを知るチャンスです。正直に申せば、12万円でも安すぎます……。しかし、12万円といったら大金ですよ。これから統計を学習しよう！と思っているみなさんにとっては、高めの金額かもしれませんが、ただし難しいのは、あまり安価な設定としてしまい、学習欲のないかたがご購入いただいても不幸になるだけです。

12万円……ではなく……。10万円……。でもなく。どうしよか悩んだのですが……。

4万円でご購入いただけることが決定しました

4万円（税別・送料込み）です。このレベルで人生を変えられるとしたら、これよりも安価な自己投資はありません。また、おそらく多くの方は会社の経費でご購入いただくとお思います。このような言い方は失礼かもしれませんが、会社のお金で学ぶことができるのは、最高のチャンスです。なにもあなたに失うものはありません。あとは楽しんでご覧いただくだけです。

新たな知識やノウハウ、そしてツールを得ることができるのであれば、4万円は安い投資でしょう。私が新人のときに聞いたかった内容です。

リンクを押して、DVDをお申込みください。

最後までお読みいただきありがとうございました。すぐさま下リンクをクリックし、DVDをお申込みなさってください！

<http://www.future-procurement.com/product/stapr/>

- | | |
|-----------|--|
| ● DVDタイトル | : 明日から実務に活かせる「実学・統計セミナー」 |
| ● 講師 | : 坂口孝則 |
| ● 収録時間 | : 約 120 分 |
| ● 価格 | : 4万円（税別・送料込み）、テキストならびに講義で使うエクセルファイルつき |
| ● 発売元 | : 未来調達研究所株式会社 |

（PDFからジャンプする設定禁止の場合は、コピーするか前の画面からお申込みページに進んでください）
あるいは「未来調達研究所株式会社」を検索、「各種教材」をクリックしてください。次はDVDのなかでお会いできれば幸いです。